

はちろうがた

2011年12月定例会 第110号

# 議会だより

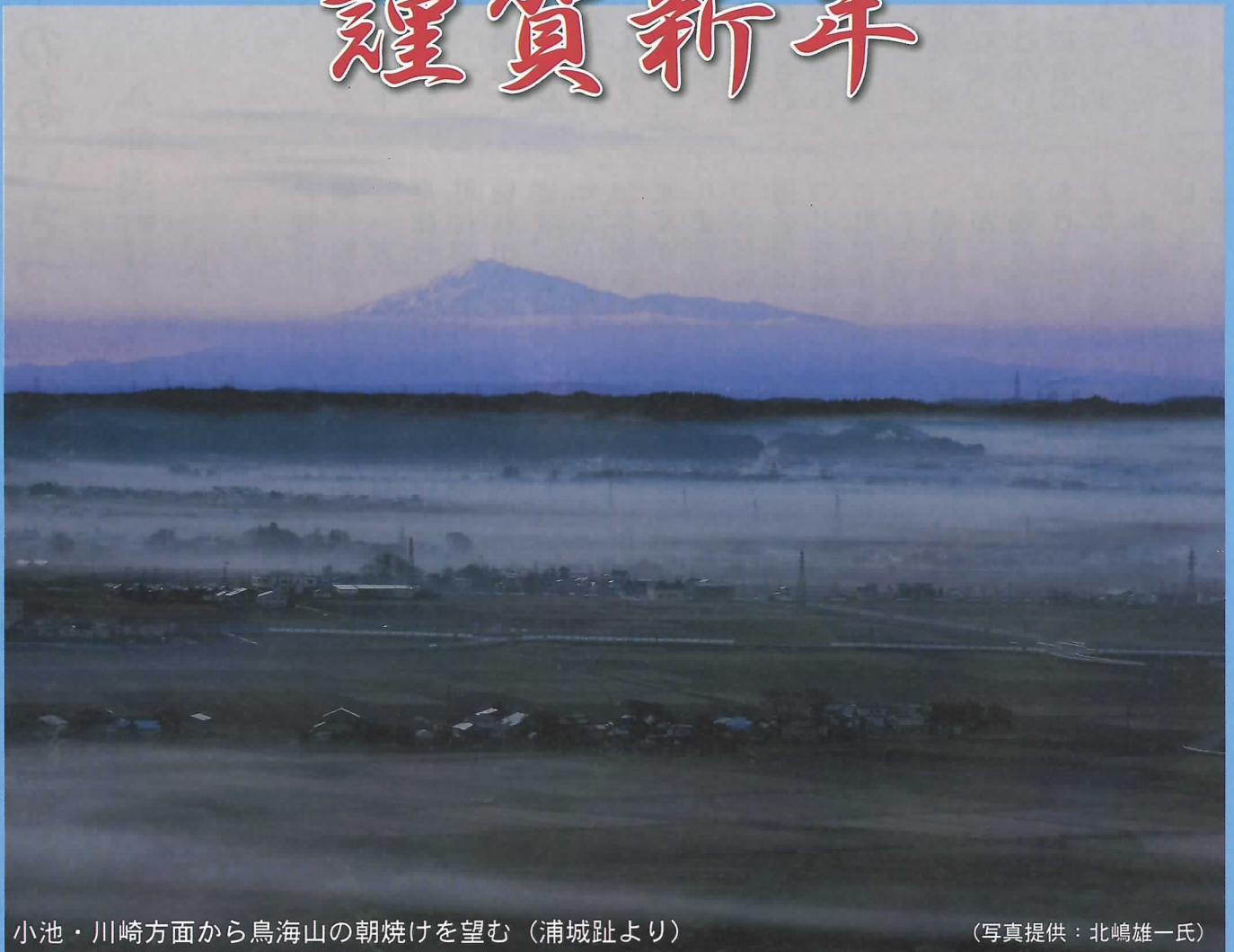
発行：八郎潟町議会

編集：議会広報編集委員会

〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80

TEL 018-875-5810

## 謹賀新年



小池・川崎方面から鳥海山の朝焼けを望む（浦城趾より）

（写真提供：北嶋雄一氏）

- ◆ 2ページ ..... 新年のあいさつ
- ◆ 3ページ ..... 12月定例会・臨時会
- ◆ 4～9ページ ..... 一般質問
- ◆ 10ページ ..... 各常任委員会の審議
- ◆ 11ページ ..... 議会改革特別委員会報告
- ◆ 12ページ ... 請願・陳情／議会のうごき







# 新年のあいさつ

八郎潟町議会議長

小野

廣



新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、新たな時代の息吹を感じながら、皆様の健康と幸せをお祈りいたしますことを平成24年の年頭にあたり、町議会を代表いたしまして心より申し上げます。

昨年3月の東日本大震災は、三陸沖を震源に国内観測史上最大のマグニチュード9.0を観測し、死者、行方不明者1万9千余人という大惨事となりました。同じ東北人として、心からご冥福を祈るとともに、被災されました皆様には謹んでお見舞い申し上げます。

また、昨夏は県内各地で豪雨による水害も発生し床下、床上浸水により避難を余儀なくされたというニュースがたびたび流れました。幸いにも本町は災害もなく、安全安心に過ごすことができました。

さて、世界的な経済不況は、わが国の企業、雇用にも深刻な影響がでており、これが税収減となつて交付税などの歳入に影響するのではないかと、懸念していたところですが、幸いにも国の経済対策交付金などで歳入面では増えています。議会としても22年度決算を認定致しました。行政の最大の責務は、町民皆様の生活の安定にあります。そのため議会としても常に当局

に提言し、子育て支援、福祉対策、生活基盤整備、教育・産業振興を働きかけております。

一方、かねてから課題でありました厚生連湖東総合病院の改築については、8月に南秋田郡町村議員大会において早期改築を決議し、その旨秋田県ほか関係機関に要請したところでもあります。新聞紙上にもあったとおり、幸いにも本年から改築に着手する予定となっております。救急体制の復活や入院棟の再開など課題はありますが、地域住民にとつて朗報であります。

また、昨年は八郎潟町誕生55周年ということでNHKのご自慢の番組が誘致されました。予選会では見覚えのある方多数がステージに登りのどを披露しておりましたし、本番では観客席に町民多数が観覧し楽しんでいた様子はうれしいことでありました。

最後に、いま議会は町民皆様のご意見を伺いながら、ともに歩む議会を目指して議会改革特別委員会を開催し、すでに12回の討議を重ねております。合意したひとつひとつを着実に進め、よりよい議会の実現に向けて努力して参ります。本年が災害のない、明るい年でありますように、そして皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。



議長

小野 廣

副議長

三戸 留吉

議員

伊藤 秋雄

菊地 文人

金 一義

近藤 美喜雄

北嶋 賢子

村井 剛

佐藤 長

畠山 金美

(議席順)



# 12月定例会

12月14日(水)～16日(金)の3日間定例会が開かれ、条例改正2議案、補正予算議案9議案が上程され、慎重審議の結果、総て可決されました。

## ○八郎潟町学童保育料徴収条例の一部改正

現在、学童保育を利用する場合、一律月額5,000円を10日以下2,000円、11～20日3,000円、21日以上3,500円に改正。

## ○一般会計補正予算(第5号)

歳入、歳出それぞれ3億998万円を追加し、総額は28億9,028万9千円となりました。

# 高齢者世帯を支援、除雪機3台・刈払機購入 借換債、無利子振興資金2億8千万円を借り入れ

(主なもの)

(単位：千円)

歳入	くらしの安心サポート推進事業費補助金	2,489
	障害者自立支援臨時対策事業補助金	10,466
	子ども手当システム改修事業費補助金	2,226
	繰越金 前年度	13,348
	町債 市町村振興資金	280,000
歳出	電子計算費	4,422
	住民基本台帳法改正によるシステム改修関連	
	障害者自立支援システム導入委託料	10,466
	くらしの安心サポート推進事業備品費	
	除雪機3台 刈払機5台	2,490
	介護保険特別会計繰出金	3,576
	子ども手当システム改修委託料	2,226
	10月の制度改正による	
	消防補償等組合負担金	2,892
	東日本大震災による消防団員の殉職による公務 災害補償等の増額による	
	公債費	281,057
	臨時財政対策債等(民間資金)5件を無利子の 市町村振興資金に借替えるため、繰上償還する もの、それにより町が負担する利息は約53,657 千円が軽減される見込。(償還終了はH31～H 42の予定であった。)	

◎欠員であった民生産業常任委員長の補充選任が行われ村井剛議員が選任されました。

◎副委員長が委員長に選任されたので、副委員長に畠山金美議員が選任されました。

## 八郎潟町議会第一回臨時会

11月29日(火)午前10時から臨時会が開催され、秋田県人事委員会の勧告に基づく町職員の給料及び期末手当の改定が行われ、給与条例改正と関連する一般会計、特別会計の予算の補正も行われました。また、八柳議員の死亡に伴い欠員となっていた議会運営委員会副委員長、八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議員の補充選任も行われ、いずれも原案通り全会一致可決あるいは承認されました。

○給与条例改正

一般職・特別職・議員の期末手当 0.025ヵ月分引き上げ

40歳以上の一般職の給料は平均0.26パーセント引き下げ

○一般会計補正予算

290万5千円の減額 歳入歳出総額 25億8,030万9千円

○議会運営副委員長 村井 剛 議員  
八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議員  
佐藤 長 議員



一般質問

空き家問題と有効活用・  
条例制定について



菊地 文人  
議員

**問** 人口減少によって空き家の問題は年々大きくなってきている。管理不十分な空き家には、生い茂った雑草など景観上に悪影響を与えたり、不審者の侵入・放火や火遊びなど防犯上の問題や災害時の危険もあることも懸念される。また、昨季のような記録的な豪雪に見舞われた場合には、雪の重みで空き家15棟が倒壊した県南の例もある。現時点で町が把握している空き家の戸数は。苦情の内容と対応策は。それから今季も記録的な豪雪になり、空き家の雪下ろしが必要となった場合の対処方法は。

**町長** 200軒以上の空き家があると思われ、軒数は増えていくと認識している。各町内会の空き家実態調査を12月に行う。苦情は20件程で、特に雪下ろしの案件が多かった。町内会長、社協、役場職員が対応しているが、空き家の家主に責任ある維持管理をお願いしていく。「空き家バンク」と言われる、空き家と家を探している人とを町がマッチングさせるシステムを自治体主導での取り組みがあり、ある市では、屋根、外壁などの改修費や台所、浴室などの備品購入にも補助金が適用され、経費の1/2に相当する50万以下が上限で補助金の対象としているところもある。

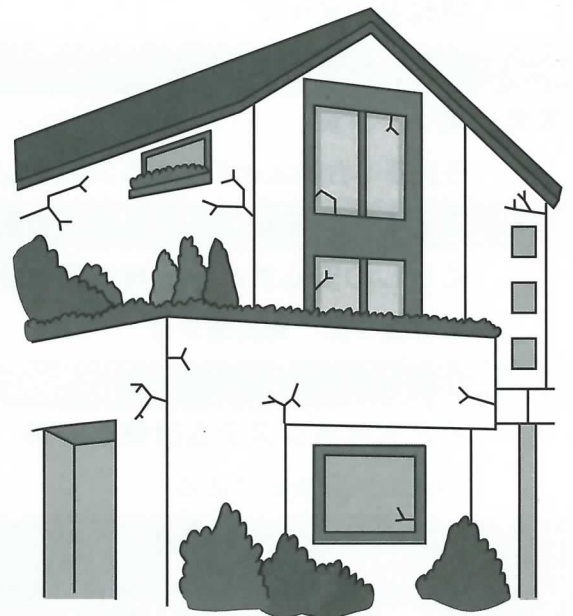
**問** 最近、全国的には空き家の適切な管理を所有者に義務付け、撤去規定も盛り込んだものや有効な利活用・景観保全・住環境の確保・まちなかの居住促進などを目的とした「空き家条例」が秋田県内2市を含む9自治体で11月7日現在検討中。本町での条例制定が望まれるが、空き家バンクを含めての当局の考えを。

**町長** 本町では比較的雪が少なく県南のような事例がないが、町内会の意向を踏まえ、今後の空き家状況を見極めながら検討していく。

**問** 3年前の激しい町長選においてめでたく町長選に選ばれ、来年度は現任期による最後の予算編成になるが、町長の行政に対する基本姿勢・予算編成について伺う。国・県の財政事情も厳しい中、来年度の重点施策としての具体的な構想とは。

**町長** 第5次基本構想において費用対効果に配慮し、業務の効率化を図り、無駄の無い予算編成にする予定。

来年度予算編成の  
基本姿勢について



(イ) 定住化促進について、公約の「若年層への安価な宅地供給」や都市部の人から住んでいただくための対策の実行も効果的との考えがあったが、その後の構想・検討課題は。

**町長** 若い人の町営住宅希望者が少なく、現下の経済不況から地元企業雇用も困難なことから、事業として進めるのは難しいと思っている。

(ロ) 「誘致企業による職場の確保」では、企業誘致促進条例を制定したが、未だ厳しい状況下にある状態。そこで打開策としてその他の優遇制度

の充実を図るべく考えは、**町長** 他自治体より優遇された条例と想っているが、今後ご相談企業があり前提条件など提示してきた場合は検討する余地がある。

(ハ) 中小企業退職金共済の掛け金を一部負担して、常用従業員の確保と雇用の安定を図るとなっているが、来年度は予算化になるのか。もし出来なければ別の構想・支援策の考えがあるのか。

**町長** 経済不況により新規雇用が少なく、他町の例からも思うような効果が現れない事から予算措置は考えていない。雇用促進に向けた対策で国の助成を強化する形で施策を行う有効なものがあれば進めていく。

(ニ) 「若手起業家支援による商店の活性化」についての振興支援策は、**町長** 国・県の補助事業などの活用や湖東3町商工会融資制度への利子補給なども考えてみたい。



# 一般質問

## 戦争で壊された津波と原発でばらばらにされた子供が出来る事で生まれる

## 家族の絆



北嶋 賢子  
議員

**アジア太平洋戦争から70年、憲法9条と平和について**

**問** 1941年12月8日日本軍がアメリカのハワイ真珠湾とイギリス領のマレー半島コタバルを攻撃。アメリカ、イギリスと戦争を開始した日。◎91歳の元日本兵が、今言わなければ、戦争の悲惨さを伝える人がいなくなる。在籍した3年8ヶ月の中国戦線での出来事を告白。人は、戦争でこんなにも変わってしまった。我々は東洋の鬼と呼ばれた。◎少年達を特攻隊員として、片道分の燃料だけで海のかなたへ飛ばしてやった。訓練不足でどうにか飛んで行った若者もいた。この人もまた。戦争は敵であれ味方であれ、人の心を鬼にする、と言いました。今の

平和を守るためにも、憲法9条は絶対になくせないと思うが。

**町長** 「国民として、国権の発動たる戦争と武力による威嚇、または武力の行使は国際紛争の手段としては、永久にこれを放棄する。」と戦争放棄を誓う憲法9条を重んじる事は当然であり、国際社会も憲法9条の考え方で成り立つ世の中であって欲しいと願っている。

**再生可能エネルギーの推進について、ソーラーパネル利用等個々に対し補助を**

**問** 東北電力の電気料金には原発付加金が標準家庭で1ヶ月169円引かれている。が、料金の明細書には、どこにも記載が無い。経済産業省の資料で、◎使用済燃料再処理等発電費。◎特定放射性廃棄物処分費。◎原子力発電解体費。◎電源開発促進税では、年間3,500億、累計9兆1,000億もの税金が私達の知らない所で電気料から徴収され、その殆どが原発立地自治体への交付金や原発関係の補助金となっている。福島県議会と知事は、県内全ての原発を廃炉にすると表明。行くあてもなく右往左往する県民を見るに忍び難い。当然の事と思う。今こそ自然エネルギーの出番。公共の建物は勿論再生可能エネルギー活用住宅には惜しむ事なく援助があつて然るべきかと思うが。

**町長** ソーラーパネル実施に対しての補助は、国・県で住宅用太陽光発電システム普及補助金を実施している、他の県内15自治体が実施。町では農村環境改善センター改修工事を行っている。町としての補助の計画は予定していない。

**少子化対策として、高額な不妊治療に援助を**

**問** こどもが出来ずに困っている夫婦の1回の不妊治療費が高額なために、県の助成があつても、諦めるご夫婦がいます。町助成金のメリットは、若

夫婦の町への移住です。結果として幼稚園や保育園にこどもが増え、家族に幸福な時間を与える事となると思うが。

**町長** 本町では、平成22年23年と不妊治療の実績

は無いが、出生数が年々減少しており、少子化対策は喫緊の課題。今後不妊治療を必要とされるご夫婦に対する助成制度の導入を考えている。





# 一般質問

## 平成24年度の基本計画を示せ



金 一義  
議員

24年度の基本計画と予算編成もせまってきました。次年度は我々町民にどのような展望を持った町政運営と、特に農業商工振興に主体性ある考えをお示しください。

**問** (イ) 平成24年度の基本計画を示せ。

**町長** 24年度には地方交付税の落ち込みが予想され財政をよく精査し第5次基本構想に沿って事業を執り行う。

**問** (ロ) 基幹産業として位置付けている町の農業政策については。

我が町も高齢化も進み65歳以上の農業従事者が大勢です。これらを踏まえ町のこれからの農政に対する考え方は、町長の公約にあります農政の取組についてはほとんど進んでおらないようですが、農業を取り巻く環境がますます厳しくなってきました。今後の方針をお示しください。

**町長** 我が町の農業従事者も高齢者の方が多い状態です。今後とも水稲プラス枝豆の栽培を進め、また県、J Aとも連絡を取りながら今後の農政に反映していきます。新規就農者等にも積極的に協力します。

**問** (ハ) 商工振興について。

年々、商店街の風景もさみしくなかなか厳しい環境が続いています。この状態を打破すべく公的支援が必要かと思えますが、これについての考えをお聞かせ下さい。またあるとすればどのような施策を講じる考えか。

**町長** 3町商工会で行っている「たまご」を応援し中小企業の公的支援をします。

### 旧高岳土地改良区域の土地改良事業の促進について

**問** 平成19年4月に戸村土地改良区と合併した、旧高岳土地改良区地域の基盤整備について、今般の農政を鑑みますとこの地域での土地集約等は現状ではなかなか進む状態ではありません。圃場の狭さ、灌漑水の不便、降雨による水没などなどを挙げられます。これ等を解消すべきこの地域の土地改良事業を進めるべきと考えますが当局の考えをお知らせ下さい。

**町長** この地域の実情は把握しておりますので、今後土地改良区とよく相談します。

### 地域活性化に対する考え方は

**問** (イ) 県が来年度から取り組む地域活性化支援に我が町の計画は。

町の人口の減少、地域の疲弊による今日、県は市町村の地域活性化の取組を支援するために来年度から5年間で事業内容に応じて交付金を支給するとありますが、町ではどのような事業が考えられますかお示しください。

**町長** 24〜28年まで5年間の事業で県としても2月にプログラムができ24年度の素案ができる。町としても今後県との整合性を考える。

**問** (ロ) NPO法人浦城の歴史を伝える会に対する町の考え方は。

NPOは純粋なビジネスとしては成立しにくい。ほとんどは、寄付、公的助成、ボランティアの協力を得て運営している。NPOが息長く活動するのに課題となるのは、資金の問題と人材、などである。

NPO浦城もこの3年間に緊急雇用の助成金を

### 岩手県沿岸部の震災がれき受け入れ調査についての町の施政は

**問** 東日本大震災で発生した岩手県沿岸北部の「がれき」の受け入れ調査を、さきがけ新聞で行った結果が報道されておりましたが、10月21日付けの調査の回答と、11月3日の新聞による回答と、その都度回答のニュアンスが違います。どのような観点から最初の回答と最後の回答の開きが生じたのか、また11月29日の活用して里山の整備を進め自然を散策できるコースができ年間2,000人の方々が見えるようになったとあります。今後このコースの整備に必要とされる費用だけでも年間約500万の金額が見積もられます。来年度の予算のめどは付きましたか、その後の費用負担についてはどの様に考えているかお知らせ下さい。

**町長** 今後とも支援をしていきます。

新聞報道による県としては放射性物質濃度の基準値を踏まえ、年内に受け入れの方向とありますが、県からの要請の場合、どのように対応し、町民にどう説明しどのような方向性を示すかお知らせ下さい。

**町長** 22日の八郎湖周辺清掃事務組合の会議で方向性が出てくると思えます。男鹿市、井川町の処分場がいっぱいになっています。受け入れの場合にはよく町民に納得のいくようにします。



# 一般質問

## 防災行政にまず町民アンケートを



島山 金美  
議員



**問** 防災無線が聞こえないという問題で、どの地域が難聴なのか、町民は日ごろどう考えているのか等の意識調査はまだ行っていません。現実をしっかりと把握しないと、町民要望とかみ合わない施策にならないか。

**町長** アンケートは、気象条件や気密性が向上した家屋など、難聴となる地域も時として変わり、季節によっても変わってくるため考えていない。支え合い寄り添うことで近くの住民がお年寄りに声をかけることで伝達され、向こう3軒両隣の付き合いが情報伝達のツールとして成り立つものと確信している。

### 住宅リフォーム支援事業の実施を

**問** 支援事業を実施して

いないのは八郎潟村と当町のみと聞く。実施の必要性がない明確な理由は、住みよい住環境を目指すことは、住んでみたい町「八郎潟」の印象づくりには切り離せない分野であると思うし、そうした町づく

りを推し進める考えがあるのであれば、環境に配慮した素晴らしい技術を取り入れたリフォームについて、グットリフォーム賞として特別助成するくらい町の独自の柔軟な施策で対応してほしいと思うが。

### スポーツ振興のための環境整備について

**問** 中学校、小学校での

野球では、ネットの外野フェンスがないことにより、練習の不十分さや対外試合でも特別ルールを適用せざるを得ない状況。まず現場に降りて、そうした声を拾い集めなければ整備に進展はないと思う。

グランドゴルフ場の芝の手入れ計画などは。また、町民の健康増進のみを目的として整備したのか、あるいは、他市町村との交流人口活性化を促すべく整備したのか。かじ取りいかんでは中羽立公園はオリンピック記念会館などを巻き込んで喜ばれる施設集積エリアへの可能性を秘めていると思うが。

あるため、常時ネットフェンスを張っておく訳にもいかない。特に小学校グランドは、防災ヘリとドクターヘリの緊急離着陸地点に指定されている。グランドゴルフ場は随時職員が芝刈りをし、事故防止のためにも、芝刈り機の使用は協会にはお願いしていない。今後、協会に対しての指導助言、そして育成を教育課が担うのは職務と考えている。

**教育長** ネットはとりあえず一式準備し、大会時、あるいは練習試合等で必要に応じて貸出す。利用状況を踏まえ、今後増設するかどうかを検討していく。





# 一般質問

## 環境基本条例の制定について



近藤美喜雄  
議員

**問** 環境への負荷によって損なわれると懸念される課題は大気、水、土壌、森林、農地、水辺環境など多岐にわたり、私たちには将来世代に豊かな環境を継承する義務がある。環境基本法では、国や地方自治体がやるべきこと、事業者及び国民の責務を表し、第七条では、地方自治体に国に準じた施策の策定とその実施が求められている。その第一歩が町の条例制定であり、早期に条例制定が実現されるよう検討いただきたい。

**町長の目指す町政課題は**  
平成22年度決算の状況から、町財政の建て直しに一定の目的をつけたものと感じている。さらに福祉協力員・教育サポートターの配置、浦城NPOの支援、環境保全米の推進、おもしろ市場への支援などの実績があり、国、県からの支援により以前からの懸案事項もかなり解決しているように思う。但し、企業誘致、若年層への安価な宅地供給、交通弱者の買い物利便性確保、国際感覚を身につけた人材育成、都市との人的交流促進、これらについて今後意欲的に取り組むのか、あるいは検討の結果断念したのかあらためてお聞きしたい。特に環境保全米については本腰を入れて取り組まなければ推進できないと思うがどうか。

**24年度予算編成の基本方針は**  
**問** 町の活性化と若い人のいる町、通勤圏内に働く場所のある町、福祉と教育支援の行き届いた町、文化的近代的機能を備えた住宅の提供など若い人の住んでみたい町を目指すための課題は多い。町長の考える当面の課題は何か。本町の未来展望とその骨格形成のため、今何を優先的に成すべきか関連して24年度予算編成

準備を進める。条例制定後は、国・県との整合性を考えながら、町の環境基本計画を策定したいと考えている。

**町長** 環境保全米対策は困難ではあるが、販路の開拓、通年販売のための保管庫、グループの強化とグループによるインターネット販売などに協力していく。企業誘致、安価な宅地供給には今後も実現にむけ努力する。交通弱者対策は需用を再精査し今後検討したい。国際感覚を身につけた人材の育成は、町民が英語に親しむ機会を増やすことにつとめていく。農業を介した都市との人的交流は課題が多くすすめていない。

の方針として、なにを職員に指示しているか。  
**町長** 財政の健全化を守りながら、安全安心の町づくりを目指し、湖東総合病院の改築を確かなものにする。福祉、少子高齢化対策や農・商業

の振興、若者の定住化などを進める必要がある。職員には新規事業に取り組む一方で、費用対効果の精査による事業の見直しなどメリハリのある予算編成に当たるとのよう指示している。





# 一般質問

## 「県市町村未来づくり協働プログラム」への対応について



剛 村井 議員

**問** 県では、市町村の地域活性化の取り組みを支援する為、来年度からスタートする「県市町村未来づくり協働プログラム」に5年間で50億円を充てる方針を決めた。市町村が希望する事業を「あきた未来づくり本部」で審査し、1自治体当たり約2億円をベースに、事業内容と財政規模を考慮し交付金が決定されるもので、きわめて魅力的な事業である。事業の対象分野は、

- ① 特色ある観光地づくり
- ② 再生可能エネルギーの普及と地域産業の育成
- ③ 安全安心な地域づくり
- ④ スポーツ文化の振興
- ⑤ その他の元気を生み出す地域づくり

の5分野との事。

県では、「観光文化部」を新設し本県の自然・文化・農産物等の地域資源を活用し、交通の利便性を高め、交流入口

の拡大に向け総合戦略を立ちあげようとしている。本町発展の戦略確立の好機であり、その事業内容と展開方法を問う。

**町長** 内部で検討中。詳細が未定なので、事業内容はまだ言えない。町にとってメリットの大きい事業なので、安全・安心の町づくりを含め、地域の活性化と町民生活の向上を図る観点から対象事業をしぼる。

**問** 秋田県は、岩手県から北部4市町村分のがれき13万トンの受け入れを要請されている。県が5月に受け入れ調査を実施した段階では、6市5事務組合と民間12業者が、年間30万トンの受け入れ可能と回答し、八郎湖周辺清掃事務組合も含まれている。

その後、10月での再調査では、放射能汚染に対する懸念から、全市町村が現段階での受け入れは、困難としている。

### 東日本大震災に伴うがれき処理受け入れについて

しかし、県知事は「全面の確証を得た段階で一気呵成に進める」と表明している。

12月に更なる意向調査が行われているが、本町並びに八郎湖周辺清掃事務組合の対応を問う。

**町長** がれきの処理に協力したいと言う強い思いはある。

八郎湖周辺清掃事務組合では、構成市町村全てが、地域住民の理解は得られないとして、受け入れ困難としている。

現在、更なる意向調査中であるが、関係市町村の協議を経て判断する。

**問** 共同使用道路の舗装の要望に対し、歴代町長は私有地の寄贈があれば、直ちに実施する旨、返答して来た。

今後この方針を堅持し、寄贈後速やかに対処される事を求める。

**町長** 寄付採納を受けた道路は、町道路認定の後、道路整備を図る。

### 寄付採納道路と町道中嶋田一本木線の改良について



限られた予算の中で行う必要があり、優先順位を検討し対応する。

**問** 16区町内の消防団第3分団詰所に至る中嶋田一本木線は、一般車輛・緊急自動車・農耕車等、きわめて通行量が多く、かつ道幅は狭い。通学路にも指定されて

おり、子供達の安全面からも、早期の拡幅整備を求めらる。

**町長** 16区町内会からも要望されている。今年度、現地を調査したところ、工事手法の面で問題もあるが、道路整備の優先順位をふまえて、対応する。



# 各常任委員会の審議

## 総務教育 常任委員会

**問** 冬期交流プログラム事業について、福島県のバトミントンクラブとの交流だが、福島県定となっているが、福島県のとこからか。また何人くらいの予定か。交通費分の県補助は。宿泊施設はどこか。また中羽立公園管理棟など利用できないのか。

**答** 福島県全域で、父兄を含め40名。県補助金は宿泊費、交流活動費となっており、交通費を町から5万円負担で考えています。宿泊は、旅館協会に加盟している旅館に限定されています。したがって、宿泊人数の関係から近隣市町村への宿泊になることもあります。

**問** 高さ約1.2m。常時使用するものではなく、弁天球場に保管し、大会や練習試合で使用する時、貸し出しをすることを考えています。

**問** 庁舎管理の備品購入費の減額は。

**答** 入札により役場関係のデジタルテレビ15台分を購入した請負差額分の更正です。

**問** 幼稚園への発電機購入について、停電時は1台で間に合うのか。また発電機の容量は。

**答** 災害時に使用するもので、明かりは確保出来るかと考えています。町民課で購入したものと同じで、4.0キロワット。

**問** 高齢者を支援する地域のボランティアや町内会の方々に貸し出しするものだが、必要に応じて講習の場を設けたいと考えています。

**問** 較差縮小対応型というのは

**答** 戸別所得補償制度の本格実施により、最大11.2%あつた転作率の較差を23年度から3カ年で半分くらいに縮小することになっているが、その影響のあつた地域に支援するということも。当該作物は、枝豆・キャベツ・ほうれんそう以外の野菜で、出荷販売した農家が対象となり、10aあたり10,000円を上限としている。

うわけではないが、一人入所者が増えただけでも負担額は大きくなっている。ショートステイを利用している方も増えている。居宅介護については、当初の計画よりもヘルパーやデイサービスの利用が少なくなっている。

**問** ニーズ調査の集計結果に関する資料が提示されたが、この結果をもとにこれから考えられる施策はあるか。

**答** 集計結果については、介護保険5期計画の資料とすることや高齢者福祉の充実を図るために活用していくが、特に、地域で支え合える部分についての買い物や通院支援、外出支援関係など、支援を必要としている人がどのくらいいるのかを把握し活用したいと考えている。今後調査結果を充分に分析して、早急にやらなければいけないものなど、取捨選択して対応していきたいと思う。

**問** 備品購入費ネットフ

ェンスについて、高さはどれくらいか。中学校野球練習のためにフェンスを付けたらとの意見もあるようだが。

## 民生産業 常任委員会

**問** 一人暮らしのなどの高齢者支援としての除雪機の購入に関して、導入するにあたって機械操作の講習会は実施するのか。

**問** 地域密着型、施設介護サービス給付費が増額しているが、グループホーム等の施設に入所する人が増えたのか。それにより待機者も少なくなっているのか。

**答** 入所者が増えたとい

### 平成23年

### 八郎潟町議会12月定例会提出議案

議案番号	審議案件	結果
発議第4号	八郎潟町議会委員会条例の一部を改正する条例案について	原案可決
議案第61号	八郎潟町学童保育料徴収条例の一部を改正する条例案について	原案可決
議案第62号	平成23年度八郎潟町一般会計補正予算(第5号)について	原案可決
議案第63号	平成23年度八郎潟町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第64号	平成23年度八郎潟町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第65号	平成23年度八郎潟町公共下水道事業特別会計への繰り入れの補正について	原案可決
議案第66号	平成23年度八郎潟町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第67号	平成23年度八郎潟町農業集落排水事業特別会計への繰り入れの補正について	原案可決
議案第68号	平成23年度八郎潟町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第69号	平成23年度八郎潟町介護保険特別会計補正予算(第4号)について	原案可決
議案第70号	平成23年度八郎潟町上水道特別会計補正予算(第4号)について	原案可決





かねて病氣療養中でありました八柳祐孝議員が、平成23年11月2日午前8時40分永眠致しました。享年47歳。

葬儀は11月7日清源寺で、大勢の会葬者が見守る中、八郎瀧町、八郎瀧町議会、八柳家の合同葬で行われました。



## 議会改革特別委員会の報告

第10回委員会 10月20日(木) 午前9時から 議会第二委員会室

設問 議決事件の追加

意見の要約 ○前回とり上げていた福祉関係は各種計画からなり、それぞれの専門の機関で作られているので、専門性もあり除く。①基本構想及び基本計画②地域防災計画③環境基本計画の三計画を追加することとする。

設問 法・条例等に規定されているもの以外の委員等への就任 — 町長と議員はそれぞれの選挙で町民から選任されている。町長は当局の代表者、議員は町民側の立場にある。できるだけ議員は執行機関である当局の中に入りすぎないとする意見がある。

意見の要約 ○議員の就任が法あるいは条例によって規定されているもの、規定がないものの状況などについて検討。調査された範囲では現状容認の方向。

設問 議会委員会条例 公報発行に関する条例などの改定について

意見の要約 ○民生産業委員会は特別会計が多く難儀している。四年間同じ委員会でもいいかどうか。二年で交替もある。ほとんどの議員は前期と交替しているこのままでいいのではないか。この後さらに検討。広報の委員は二年で交替する。24年12月議会で提案の予定。

設問 議会改革に関する町民アンケートについて

意見の要約 ○出来るだけわかりやすいようにする。町の広報に折込し同封の返信用封筒で回答して頂く。いたずらをなくするため記名をお願いする。

設問 定数 報酬について

意見の要約 ○アンケートを参考にするため、回収後に再度検討。

第11回委員会 11月25日(金) 午前9時から 議会第二委員会室

設問 情報公開について

意見の要約 ○各町村の事例を参考にしながら検討した。本町が今実施している議会広報、インターネット中継（ほかではまだあまり実施していない）を中心に①議事録のホームページ検索②委員会の傍聴③議会映像の録画放送などの実施についても話し合う。改善センター等での議事録の自由閲覧については問題があり当面は実施を見送ることとした。調査しながら再度話し合うこととした。

設問 議員の賛否の公表

意見の要約 ○第7回委員会での話し合いを基本に、人事議案（慣例的に無記名投票）以外は各議員の賛否の状況を公表する方向で話し合われた。

設問 議会会議規則の改正ポイント

意見の要約 ○①一般質問はいままでの「一括質問一括答弁」と「一問一答」の選択制を中心に話し合われた。時間は質問答弁合わせて一時間以内。会議規則に明記する。

第12回委員会 12月20日(火) 午前9時から 議会第二委員会室

設問 基本条例について — 地方分権の拡大、より開かれた議会運営の視点に立ち、議会運営の最高規範として本条例を制定するものである。

意見の要約 ○本条例の素案を基に条文について検討した。修正し次回さらに検討することとした。

設問 議会委員会構成について

意見の要約 ○総務産業常任委員会、民生教育常任委員会の方向で調整中。

設問 町民アンケートについて

意見の要約 ○アンケートの要旨は完成。1月広報に折込み、1月25日までに解答用紙を返信用封筒で投函いただくこととする。





## ■ 請願・陳情

受理番号	件名	住所	氏名	件名	付託委員会	本会議結果
10	陳情	秋田市	秋田県商工団体連合会 会長 小玉正憲	「社会保障と税の一体改革による消費税増税は行わないこと」を国に求める陳情書	総務教育	不採択
11	陳情	秋田市	秋田県労働組合総連合 議長 佐々木章	原子力発電所の廃止・再生可能エネルギーによる発電の推進を国に求める陳情書	総務教育	採 択
12	陳情	秋田市	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 中村秀也	「介護職員待遇改善交付金の継続」の意見書採択を求める陳情書	民生産業	採 択
13	陳情	秋田市	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 中村秀也	大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書	民生産業	採 択
14	陳情	秋田市	秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺淳	「社会保障と税の一体改革」の中止を求める陳情書	総務教育	不採択
15	陳情	八郎潟町	全日本年金者組合秋田県本部 湖東支部 支部長 土橋 茂	消費税によらない最低保障年金制度の創設を求める陳情	民生産業	採 択
16	陳情	八郎潟町	全日本年金者組合秋田県本部 湖東支部 支部長 土橋 茂	年金受給資格期間を10年に短縮することを求める陳情	民生産業	採 択
17	陳情	八郎潟町	全日本年金者組合秋田県本部 湖東支部 支部長 土橋 茂	無年金・低年金者への基礎年金国庫負担金3万3千円の支給を求める陳情	民生産業	不採択
18	陳情	八郎潟町	全日本年金者組合秋田県本部 湖東支部 支部長 土橋 茂	0.4%の年金引き下げをもとに戻すとともに、物価指数による年金引き下げを行わないことを求める陳情	民生産業	採 択



## 議会のうごき

### 10月

- 5日 秋田県町村議会議長理事会(議長)
- 5日 南秋田郡町村議会議長連絡協議会(議長)
- 10日 全県中学校ソフトテニス八郎潟大会(議長)
- 14日 秋田県町村等監査委員研修会(監査委員)
- 16日 産業・芸術文化祭(舞台発表)
- 18日 例月出納検査(監査委員)
- 20日 議会改革特別委員会
- 22日 八郎潟小学校発表会
- 23日 産業・芸術文化祭(展示)

- 26日 八郎潟幼稚園発表会
- 27日 知事と市町村議長との懇談会(議長)
- 29日 議会運営委員会
- 29日 臨時議会
- 30日 南秋田郡町村議長会正副議長・事務局員研修会(議長・副議長)

### 12月

- 4日 小野恵子創作バレエ研究所チャリティ発表会(議長)
- 6日 議会運営委員会
- 6日 議会広報編集委員会
- 14日 12月定例議会(~16日)
- 19日 例月出納検査(監査委員)
- 20日 議会改革特別委員会
- 20日 湖東行政一部事務組合議会
- 22日 南秋田郡町村議会議長連絡協議会(議長)
- 22日 八郎湖周辺清掃事務組合議会
- 22日 八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会
- 22日 議会広報編集委員会
- 28日 議会広報編集委員会

### 11月

- 2日 八柳祐孝議員ご逝去
- 3日 議会全員協議会
- 6日 消防団秋の駆付訓練
- 7日 八柳祐孝議員葬儀(町・議会・八柳家合同葬)
- 11日 例月出納検査(監査委員)
- 16日 定期監査(監査委員 17日まで)
- 18日 秋田県後期高齢者医療広域連合議会(議長)
- 25日 議会改革特別委員会

#### ◆議会広報編集委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 北嶋賢子  |
| 副委員長 | 菊地文人  |
| 委員   | 近藤美喜雄 |
|      | 山金美廣  |
|      | 小野留吉  |

町制施行55周年記念行事も大詰めを迎えている。日本の文化は節目に対するケジメの付け方に重きをおいた行事で成り立っていると云ってよいが、大震災を機に、日本人は世界有数の民族であると言わしめるのも、こうしたいさぎよさを示すことの大切さを説いてきた教育文化が土台にあるからと思う。日本人に生まれてこれた事に心から感謝したい。

世はまさに成熟社会の初期か末期かわからない時代であるが、揺るぐことのない基本は日々の生活の中にケジメをつけた習慣がどれだけあるかだ。毎朝仏さまにオマシマとお茶を上げる。宗教は違えど、思いは同じ。先祖に感謝し、親に感謝し、この町に住めることに感謝する。

節目の向こうに見える新たな夢や希望が、ハイビジョンのごとくはつきり見えるようにしていくのが私たちの責任である。選挙という審判を受けるケジメの日も近い。(かねみ)

#### 編集後記